高等学校 令和6年度（１学年用） 教科　国語　　科目 言語文化

教　科：　国語　　科　目：　言語文化　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　5 組

教科担当者：（全クラス：佐藤千

使用教科書：（「言語文化」大修館書店　　）

教科　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】２年時以降は学ぶ機会のない古文・漢文を中心に取り上げ、言語感覚をみがく基礎知識と技能を身につける

【思考力、判断力、表現力等】古文・漢文の学習を通して、日本語の表現について深く考え、実践する。

【学びに向かう力、人間性等】古文・漢文の学習を通して、日本の言語文化を深く考え、個々の社会生活を豊かにする実践をはかる。

科目　言語文化　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の言語、過去の言語について知見を持ち、いまを生きる自分の言語感覚を、みがく技能に役立てる。	前賢がのこした文章に触れ、伝わる表現のことを深く考え、同時に自分の個性や興味を取り込みつつ、伝わる表現を実践する。	言語文化への知見を通して、個々の社会生活を積極的に豊かにしていこうとはかる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	1、現代文編①／言語文化への視点「世界を見わたす窓」「文字の深秘」 【知識及び技能】 ・言語への知見や興味を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・どんな言語にも共通する「伝える」「伝わる」を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業で学んだことを、自分の社会生活に取り込み、生かす。	・筆者が紹介するさまざまな言語文化に触れ、多様なものの見方、世界との向き合い方を知る。 ・教科書では紹介されていない、他の例についても紹介する。		○	○	・わが国の言語文化の特徴を、ほかの言語文化と照らし合わせて理解している。 ・さまざまな具体例に興味を持てる。 ・筆者の意図を正しく受け止めている。	○	○	○	8
	2、漢文編①／漢文に親しむ「私たちと漢文」 【知識及び技能】 日本文化に深い影響をあたえた中国文化を漢文訓読を通して深める 【思考力、判断力、表現力等】 漢文訓読を通して、中国文化を日本人がどのように摂取したかを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 授業で学んだ知見を、自分の言語感覚をみがくのに役立てる。	・日本人が編み出した、特異な漢文訓読法を体感する。 ・日本の言語文化へ大きな影響をあたえた漢文訓読調のリズムを体感する。	○	○	○	・漢文を通して日本に入ってきた中国文化が、わが国の言語文化の成立に不可欠だった事実に気がつく。 ・上記の事実が、日本の言語文化が発展するうえで、プラスであったことを評価できる。	○	○	○	2
	3、漢文編②／「論語」「孟子」 【知識及び技能】 ・漢文訓読を通して、先人の「論語」や「孟子」の理解を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 「論語」や「孟子」を、日本文化へどのように摂取したか考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業で学んだ知見を、自分の言語生活を豊かにすることへ役立てる。	・漢文訓読、漢文訓読調のリズムを通して、孔子や孟子の思想に触れる。	○	○	○	・「論語」や「孟子」がわが国の言語文化の発展に、大きな影響をあたえた事実に気がつく。	○	○	○	6
	定期考査						○	○	○	1
	4、漢文編③／「蛇足」「鶏鳴狗盗」 【知識及び技能】 ・漢文訓読に習熟する。中国の史書に親しむ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・故事成語の知識を増やす。 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業で学んだ知見を、自分の言語生活を豊かにすることへ役立てる。	・漢文訓読、漢文訓読調のリズムを通して、中国の史書に親しむ。	○	○	○	・故事成語がわが国の言語文化や思想形成に、深く関わっていた事実に気がつく。	○	○	○	6
	5、漢文編④／「雑説」「黔之驢」 【知識及び技能】 ・韓愈、柳宗元ら中唐詩人の名文に親しむ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢文訓読調を通して、韓愈、柳宗元を体感する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業で学んだ知見を、自分の言語生活を豊かにすることへ役立てる。	・漢文訓読、漢文訓読調のリズムを通して、中唐詩人の詩篇名文に親しむ。	○	○	○	・論理と情理を兼ね備えた中唐詩人の詩篇名文が、わが国にも受け入れられ、わが国の言語文化へも深い影響をあたえていた事実に気がつく。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
2学期	6，古文編①／「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」 【知識及び技能】 ・呪言、祝詞から始まった和歌のことばを知る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・和歌に使われる、特殊な言葉遣いを知り、親しむ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業で学んだ知見を、自分の言語生活を豊かにすることへ役立てる。	・和歌のリズムや特殊な言葉遣いを通して日本の言語文化の一端に触れる。	○	○	○	・「和歌言語」が日本の言語文化の特殊な一面であること、特徴的な一面でもあることを理解する。	○	○	○	8
	7、古文編②／「枕草子」「徒然草」 【知識及び技能】 ・中古、中世の時代背景にも触れつつ古文を味読する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古語、古文法の最低限の知識を持って、作品を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業で学んだ知見を、自分の言語生活を豊かにすることへ役立てる。	・古文、古語のリズムを通して、日本の言語文化の源流にあたる古文に親しむ。	○	○	○	・現代文、現代語とは異なる古文独特の言語文化を理解する。	○	○	○	5
	定期考査						○	○		1

	８、古文編③／「源氏物語」ほか 【知識及び技能】 ・平安時代の有職故実にも触れつつ、古文を味読する。 【思考力、判断力、表現力等】 古語、古文法、古文常識の最低限の知識を持って、作品を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業で学んだ知見を、自分の言語生活を豊かにすることへ役立てる。	・世界的によく知られた「源氏物語」を同時代作品、先行作品と並べて、特徴を理解しつつ親しむ。	○	○	○	・「源氏物語」の特徴、おもしろさを理解する。	○	○	○	6

	9、古文篇④／「平家物語」「おくの細道」 【知識及び技能】 ・軍記物、俳文の特徴に親しむ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・言語も文化も和漢混淆する、独特な言語文化の特徴を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業で学んだ知見を、自分の言語生活を豊かにすることへ役立てる。	・軍着物、俳文の魅力に、音読を通して親しむ。また和漢混淆文独特の魅力を知る。	○	○	○	・軍着物、俳文の特徴、おもしろさを理解する。	○	○	○	5
	定期考査						○	○		1
3学期	10、現代文編②／「羅生門」・古文編⑤「宇治拾遺物語」「今昔物語集」 【知識及び技能】 ・古典の言語文化が息づく現代の小説に親しむ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の言語文化が現代の小説へ、どのように摂取されているか、そのプロセスに注目する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業で学んだ知見を、自分の言語生活を豊かにすることへ役立てる。	・古典の言語文化が息づく芥川作品に親しむ。	○	○	○	・古典の言語文化が息づく、芥川作品のおもしろさを理解する。	○	○	○	7
	11、現代文編③／「城の崎にて」 【知識及び技能】 ・文学史上の志賀直哉の位置を知る（原文一致運動・私小説） 【思考力、判断力、表現力等】 ・明治期の「言文一致運動」の中で起きた「名文」の定義の変化が、内容にも影響を与えることを理解し、表現内容と表現形式の関係について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業で学んだ知見を、自分の言語生活を豊かにすることへ役立てる。	・近代社会のなかで新たに成立した「言文一致運動」の延長線上に生れた「新しい名文」によって書かれた、私小説の名作に親しむ。		○	○	・私小説の味わいを理解する。	○	○	○	3
	12、現代文編④／「サーカス」「Circus」 【知識及び技能】 ・日本の詩の歴史について、概括的な知識を持つ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・詩の表現が日本の言語文化の特殊な一面であること、特徴的な一面であることを理解し、表現について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業で学んだ知見を、自分の言語生活を豊かにすることへ役立てる。	・英語に翻訳されたものと日本語の原詩を比較し、日本語の言語文化の特徴に改めて気が付く。	○	○	○	・詩の表現の特徴、愉しさを理解する。	○	○	○	3
	定期考査						○	○		1
										合計
										70

＊なおこの年間計画は予定です。生徒の理解の様子によって、変更することがあります。